

令和3年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	水の公園福島潟 菱風荘		
管理者名	愛宕商事株式会社	指定期間	平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日
担当課	新潟市北区産業振興課		
所在地	新潟市北区前新田乙364番地1		
根拠法令	都市公園法		
設置条例	新潟市都市公園条例		
施設概要	・敷地面積 10,163㎡ ・建築面積 本館：428㎡（木造2階建て）管理棟兼宿泊施設、宿泊可能人数24名 体験棟：294㎡（木造平屋建て）研修施設 宿泊棟：一般39㎡×6棟・身障者46㎡×1棟（木造平屋建て） 宿泊可能人数6名/棟 ・設置年月 平成12年10月		

施設設置目的
宿泊及び研修施設
管理・運営に関する基本理念，方針等
○水の公園福島潟来園者に宿泊・研修の場を提供することを目的として運営する。 ○学校行事や子ども会等の福島潟自然体験活動を通して、次代を担う子どもたちの心身の健全な発達を促す拠点施設であるとともに、福島潟の自然観察や写真撮影、観光等に訪れた人々の活動の拠点施設となるよう運営する。 ○優良な宿泊・研修環境の提供及び福島潟の自然体験活動を生かした各種自主事業の展開により、サービスの向上を図り、子どもたちをはじめとする多くの人に福島潟の豊かな自然に親んでもらうことで、賑わいの創出と地域の活性化を図る。

令和3年度

視点	評価項目	評価指標	実績	評価※	評価コメント※
市民	目標利用者数の達成	宿泊者3,904人 日帰者500人	宿泊者3,763人 日帰者596人	C	宿泊者で達成しなかった
	目標稼働率の達成	宿泊稼働率25.9% 日帰稼働率2.4%	宿泊稼働率29.0% 日帰稼働率2.4%	B	
	各サービス向上への取り組み	利用者アンケートの実施	適正に実施	A	高評価をいただいている
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には5営業日以内に回答	適正に実施	B	
財務	設置目的に合致したサービス提供	利用推進プランや自主事業企画を3件以上実施	7件	B	
	経営の安定化	利用料金12,195千円以上	13,201(千円)	A	指標を上回った
	他施設との連携に対する理解	水の公園福島潟の近隣施設と福島潟の保全やPRについて協議会、共同事業を実施	福島潟協議会に参加、マルシェ、スタンプラリーなどで共同事業を実施	A	各種団体と連携し、事業展開を行った
業務	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	改善内容に応じて軽易なものは即日、時間を要するものは1週間以内に対応	改善勧告なし	-	-
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	防災訓練年2回以上実施	2回実施	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	事故発生0件	0件	B	
人材	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	適正に実施	B	
	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	職員研修を年4回以上実施	ミーティング研修9回	A	指標を上回った
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	適正に実施	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピルしたい事項・未達成項目への改善策等)

令和3年度は指定管理業務再公募の年でもあり、目標や志などを再確認、今までの業務を見直す良い機会となった。コロナ禍で大変厳しい運営が続いているが、令和3年度における特記事項として以下を記載する。

①スタッフ教育、社員研修を行い指定管理業務更新に向けて取り組んだ。

②改めて地域の方々との交流やファン作りが運営にとって不可欠という事を認識し、セルフカフェを使った地域交流企画(作品展や特設レストランなど)を実施した。

③焚き火を使って飯ごう炊飯体験などを実施し好評を頂いた。

R4年度以降、コロナ禍においてお客様の利用の動向が見通せないが、使っ得! 県民割キャンペーンなども活用し、引き続き利用者増に努めるものとする。

所管課による総合評価(所見)

新型コロナウイルス感染症の影響により、未だ収支状況はマイナスとなっているが、利用料金は着実にコロナ前に戻ってきているので、経営状態は安定してきていると認識できる。

周辺施設や福島潟関連団体と連携した事業を行うことにより、自然文化の継承に大きく貢献している。

今後は、新しい生活様式の実践など、お客様に安心して利用してもらえるような工夫をし、更なる施設アピールにより利用者数・稼働率の増を期待したい。